

つ近づき、嵐を伴いながら頭の上を通り過ぎ、やがてまた大平原のかなたへ消えて行くというパノラマをこの目にすることができたのは、とかく実際の現象から離れて物事を考えがちな私にとって、非常に貴重な体験であった。特に、書物からの知識だけしかなかった gust front, roll cloud (写真2), wall cloud 等を身を持って体験して、自然の不思議さに改めて驚くと共に気象学を学ぶ楽しみがまた一段とふくらんだような気がした。

途中は長く感じたこともあったが、終わってみると短かい1年であった。学問上でも人間的にも多くの収穫があったと思うが、今、留学して一番よかったと思うのは、ありふれた言い方になるが「言葉や習慣が違ってても人間の心は世界共通だ」ということがわかったことである。留学したおかげで、日本にはとても話す機会のない世界のあらゆる国からの人々と話し合うことができた。そして、パデューに到着した最初の日、寮まで案内してくれた同じ研究グループの院生、Glenn Baker とは一生涯親友であり続けることだろう。

最後に、この留学を可能にする為に御尽力下さった東京大学海洋研究所の浅井富雄先生と Purdue 大学の Dr.

Ernest M. Agee, それに留学にあまり乗り気でなかった筆者に熱心に留学を勧めて下さった海洋研究所の木村竜治先生に深く感謝致します。

文 献

Church, C.R., J.T. Snow and E.M. Agee, 1977: Tornado vortex simulation at Purdue University, Bull. Amer. Met. Soc., 58, 900-908.

———, ———, G.L. Baker and E.M. Agee, 1979: Characteristics of a tornado-like vortices as a function of swirl ratio: a laboratory investigation, J. Atmos. Sci., 36, 1755-1776.

Davies-Jones, R.P., 1976: Laboratory simulation of tornadoes, Proceedings of a Symposium on Tornadoes—Assessment of knowledge and implications for man, Texas Tech. Univ., Lubhock Tex., 151-174.

木村竜治, 1979: 気象学における流体実験の意味, 1979年日本気象学会秋季大会のシンポジウム「流体を使う室内実験による大気現象の研究」中の講演.

Ward, N.B., 1972: The exploration of certain features of tornado dynamics using a laboratory model, J. Atmos. Sci., 29, 1194-1204.

気象学会および関連学会行事予定

行 事 名	開 催 年 月 日	主 催 団 体 等	場 所
月例会「長期予報・大気大循環」	昭和55年2月23日	日本気象学会	気象庁
日本気象学会昭和55年総会・春季大会	昭和55年5月21日～23日	日本気象学会	日本教育会館
第17回理工学における同位元素研究発表会	昭和55年6月30日～7月2日		国立教育会館